

本決算説明会質疑応答

Q1：2013年3月末の連結従業員数を教えてください。また、今年度末の従業員数のイメージを確認させてください。

A1：484名です。また、今年度も高水準の採用を継続する方針であり、2014年3月末では概ね600名程度を一つの目安としています。

Q2：今年度の業績予想に関して、売上高の増加分に対して限界利益率22%をかけると営業利益予想は17億円を少し超えるが、丸めて17億円にしたという認識でよいか。

A2：その認識で結構です。

Q3：今期の上半期の売上高は減収の予想となっている。従業員数の増加に伴う固定費の増加を考慮すると、下半期に二桁増収にならないと利益計画の達成は難しいと考えている。下半期の売り上げ見通しの確度について教えてほしい。

A3：業績動向についてはQlikViewを通じてリアルタイムで確認しており、上半期についてはほぼ予定通りに進捗しています。下半期については未知数の部分もあるが、①従業員数の増加によりソフトバンクグループ向けの大型案件に対する対応能力が高まっていること、②人事制度改革により退職者数が減少していること、などからSIを中心に計画の達成に向けて進んでいくだろうと考えています。

Q4：ビックデータ分野について大手を含めた競合他社もこの分野を狙っていると考えている。御社の競争優位性を教えてほしい。

A4：ビックデータについては、まず日本の厳しい個人情報保護法令をどのように解釈をするかという観点が普及のネックとして残っています。しかし、データを格納するコストが依然と比べて格段に下がったことから、ビックデータをビジネスに活用する事例は今後確実に高まっていくことが予想されます。当社としては、ビックデータを自社だけで集めきれない中堅規模の会社をターゲットとし、複数の会社のデータを集約したうえで解析を行い、ビジネスに必要な気付きをお客様に提供していく。こうしたビジネスモデルによってビックデータ分野で独自の地位を築きたいと考えております。